


No.	15-3-1	場所	高森町山吹 田沢川の「追分橋」	次世代への継承キーワード	情報伝達網整備
名称	山吹追分橋と付近の被災			河川	
災害現象	土石流			支流	
補足事項					
概要	<p>高森町吉田地区では、大島川から押し出された土砂が出砂原集落を埋めた。巨岩を積み上げた長さ約 500mにわたる惣兵衛堤防は、200 年以上もこの地域を守ってきたが、竜の背のごとく盛り上がった天竜川は堤防を乗り越え、地上部のほとんどが押し流された。田沢川は鉄砲水により下流一帯が一面河原となり、11 名の犠牲者を出した。</p> <p>●被害状況の記録： 6月27日夕方、小田沢川に発生した鉄砲水により、一瞬にして4戸の民6を流失し、8名の犠牲者をだした。 田沢川は38年に修復され、同時に県道も付け替えられて新しい追分橋が出来た。又旧橋はそのまま残っていた。</p> <p>●体験談：災害当時、高森町高森北小学校6年生 帰った時はお母さんはいなく、おとうさんがいた。おとうさんと、それからおばあさんとで、かじゅえんにおいてある、はつどうきをもちにいった。その時は、おとなりのおばさんも、ひきにいった。家に帰って、おかあさんが、おとうさんに、「水が多くなるでこいって。」 といいに来た。ぼくはこれが最後に見る父母の顔とは思ってもいなかった。そして出かけて、六時十五分ごろ、「ドーン」 というすごい音とともに、上の方から、「てっぽう水がきたぞう。」 といて、かけおりてきた。 <b>夜中ごろ、有線で水をふせぎにっていた人たちで、ひなんしている人の名をいっていた。でも、おかあさんとおとうさんの名は、なんどきいても出てこなかった。</b> (「濁流の子」より)</p>				
記録	 <p>田沢川の追分橋付近の惨状</p>				
出典	「水害から生命・財産を守りましょう」p.10/「濁流の子」p.143				
備考					

No.	15-3-1	場所	高森町山吹 田沢川の「追分橋」	緯度	35.575080
-----	--------	----	-----------------	----	-----------

名称	山吹追分橋と付近の被災			経度	137.875602
----	-------------	--	--	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通用：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。